

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：岩殿満喫クラブ
 代表者：代表 稲田滋夫
 URL : <http://hiki.blog.jp/>

1. 活動が必要とされた状況

藪化、樹林化がすすんでいる里山での谷津田再生の最初の作業は刈払機を使つての草・灌木の除去である。その作業に必要な知識と実技能力の習得をめざした3日間の講習会を実施し、里山再生ボランティアを養成する。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2015年11月、チラシ500枚を東松山市内20ヶ所に配布して、里山再生ボランティア養成講座参加者を募集。大東文化大学生6名、社会人6名の応募があった。刈払機とハーネス・チャプス・ヘルメット・防振手袋など防護具3セットを追加購入。

12月6日、岩殿会館で講師1名、助手2名で6時間の刈払機取扱者安全衛生教育実施。

12日、13日の2日間、岩殿・入山地区の実習地で里山再生・谷津田再生、岩殿市民田んぼ事業について学習。刈払機の刈刃の取り付け、燃料の準備、防護具の装着と位置調整、エンジンのかけ方などを復習。作業中の注意事項を確認し、3班に分かれて耕作放棄地の刈払い作業を実習した。

里山再生ボランティア養成講座
 参加者募集 定員10名
 12月6日
 12月12日・13日
 16,000円
 6日 研修会費
 12日 研修会費
 13日 研修会費



3. 活動の成果

東松山市エコタウン推進課・みどり公園課の支援を得て、公共施設にチラシを配布でき、募集定員以上の参加者を得て、刈払機の扱い方についても丁寧に指導できた事。

Facebookに「大東大里山再生ボランティアグループ」を開き学生間の情報共有化をはかった事。学生に対しては、3月末まで、刈払機実習を随時続けることにしている。

実習地の地権者や地元農家に、当会の里山再生活動についてアピールできた事。

4. 今後に残された課題

田んぼや畑の作業が忙しい時期にも里山再生ボランティア作業を維持・継続していくために、活動日の定例化や作業実績を実感できるようなイベントの開催。

鎌やチェーンソーについても講習会が必要だが、学生を対象とすると、受講料負担軽減、年度末試験や休業中の海外語学研修・アルバイトなど配慮した日程調整が必要。